

～区役所からのお知らせ～

東区健康まちづくりシンポジウム

市総合体育館 青年会館ホール

1/22
日曜日

「東区の復興には健康まちづくり」をテーマにシンポジウムを開催しました。
熊本地震を振り返りながら、地域の個性や特性を活かした健康まちづくりについて、講演と3人のシンポジストによる活動報告、意見交換が行われました。



第1部 ～講演～

～東区の健康は、まず健康づくりから～

【講師】 大分県福祉保健部 参事監兼健康づくり支援課長 藤内 修二さん

健康は目的ではなく、人生を豊かにするための「資源」であることや、所得と健康寿命・生活習慣の特性などについてデータを用いてご説明いただきました。

また、人と人の絆、地域の絆が深まることの意義と効用についても触れられ、地域の絆づくりは、まさに地域づくりであり、健康面に限らず、まちづくりや防災、子育てなどの健康以外の部分についても、よい効用を生みだしていくことにつながると話され、「絆」の重要性を再認識しました。



ブレイクタイム

～参加者全員で健康くまもと21体操～

健康づくりのボランティアを行う「東区健康まちづくり推進員」がステージに上がり、参加者と一緒に体操を行いました。体も心もほぐれてリラックス♪



第2部 ～シンポジウム～

【進行役】 地域づくりアドバイザー 水野 直樹さん

【出演者】 東町校区 自治協議会長 松尾 辰藏さん
若葉校区 子育て支援ネットワーク代表 西原 明優さん
東区健康を区民とつくるボランティア医師・歯科医師の会 豊田 徳明さん

シンポジウムでは、3人のシンポジストによる活動報告と意見交換を行いました。
町内でラジオ体操や懇話会などを行う松尾さんは、健康まちづくりの活動は特別なことをするのではなく、活動の中に「健康の味付け」を行うことが重要であり、町内活動を充実させることが、住民の「健康な暮らし」につながることを実感していると話されました。

西原さんからは、住民同士が「顔見知り」になる活動として取り組む「日曜サークル」の紹介がありました。様々な世代が交流することで互恵性（お互いに役に立つ）を感じられるようにし、子どもと地域がつながる仕組み、子どもと高齢者が共生できる地域づくりのヒントについて話されました。

地域の医師、歯科医師として住民のくらしや健康を支援するボランティアの会を発足させ、地域のイベント等での健康チェックや住民からの相談を受ける豊田さんは、今後も健康や疾病予防に興味を持ち、正しく理解してもらえよう、医療福祉の専門職と連携し、活動を行っていきたいとお話いただきました。

東区では、今後も皆さんと一緒に、地域の絆づくりを行いながら、健康まちづくり活動を進めていきます。



（東区役所保健子ども課）

秋津&東町仮設住宅におじゃましました!

東区内に設置された2か所の仮設住宅。

秋津には52世帯142人、東町には38世帯73人の方が入居され、市社会福祉協議会の生活支援相談員が、入居者の見守りや、声かけ、困り事に対する相談への対応など日常生活のサポートを行っています。

9月には、東町仮設住宅の敷地内に、岡山県真庭市から提供された談話室が完成。スギやヒノキなど真庭産の木材が使用され、木のぬくもりや安らぎを感じる空間で、お茶やおしゃべりを楽しむ茶話会、ミニ体操やものづくりを楽しむサロンなどが行われています。

秋津仮設住宅にも、待ちに待った集会所が2月に完成。

こちらの集会所でも茶話会やサロンなどの交流イベントが計画されています。



談話室でのサロンの様子



2月に完成した秋津仮設住宅集会所



生活支援相談員の
弥永さん(左)と佐治さん(右)

入居者に寄り添いながら、見守りなどのサポートを行うとともに、入居者同士が交流するきっかけづくりを行い、ちょっとした事でも、いつでも気軽に話ができるような関係づくりに取り組みます。
「仮設住宅に入居されている方だけではなく、地域住民の方にも気軽に立ち寄っていただき、一緒に交流できるような場になると嬉しいですね。」と今後への思いを語ってくださいました。

（東区役所総務企画課）

東区震災復興まちづくりシンポジウム開催!

無料

東区の地域防災力の強化や災害に強いまちづくりを進めていくために、シンポジウムを開催します。

熊本地震の経験を風化させず、地域の力で人やまちを守るために、これからのまちづくりや地域防災について一緒に考えてみませんか。皆さんの参加をお待ちしています。

日時 3月19日(日)午後1時半～4時

場所 市総合体育館・青年会館ホール

内容 【基調講演】

演 題：復興まちづくりのために必要なこと

講 師：竹井 善昭さん

（株式会社 ソーシャルプランニング代表取締役）

【事例発表】

発表者：倉本 剛史さん

（きばれ!あまくんシー!副代表）他

※事例発表の後にトークセッションを行います。

定 員 300人(先着順)

申込み 3月6日～16日までに電話(tel.096-334-1500)かホームページ(higomaru-call.jp)でひごまるコールへ

※駐車場には限りがありますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。

（東区役所総務企画課）

編集者のコメント

熊本地震の影響により1年ぶりの発行となった「ひがっぴいだより」。「次の発行はいつ?」「楽しみに待っているの、頑張っ!」などのお声をいただき、申し訳ない気持ちとともに、止まらず前を向こう!と、皆さまの声が非常に励みになりました。今後も、力強く前に進む地域の情報を「ひがっぴいだより」でお届けできればと思います。皆さまからのわがまち自慢情報お待ちしております!